

昭和37年 常呂高校全日制普通科設置当時の思い出

*注：昭和36年9月5日 常呂町議会において、昭和37年度から全日制設置の件を議決

11月30日 常呂高校整備計画第1期工事落成

普通教室 4教室 80坪

生徒玄関・廊下 132坪

計 212坪

昭和37年1月16日 全日制設置認可

4月10日 全日制普通科第1学年入学式

男子 66名

女子 43名

計 109名

9月 第1回学校祭開催（全日制第1学年と定時制合同）

10月20日 常呂高校整備計画第2期工事落成

屋内体育館完成

昭和38年4月 常呂高校生徒の制服が、男子は黒の学生服、女子はセーラー服と正式制定

6月 屋外グラウンドおよび野球場の整備作業完了

8月30日 野球場バックネットおよびスコアボード完成

「中学4年生」（抜粋） 帰山稔

「常呂高校四十年史」掲載

偶然のいたずらで常呂高校全日制に1期生として入学することになった我々百余名は、それまで馴染んだ顔ぶれに多くの新しい仲間を加え、「今日から高校生だ」と感慨も新たに高校生活のスタートを切ったのですが…。それは上級生のいない1年生だけの集団に加え、先生方もほとんどが大学出たてといった頼りない（失礼！）ものでした。

「常呂高校の伝統はこれからつくっていくんだ」という一種の気概を皆が感じていたように思います。前例がない分、やりたいことは何でもチャレンジできた反面、大部分が高校というものを知らなかったので何をどうしたら良いか困ることも多かったように思います。そのつど頼りは先生だけで、先輩として相談にのってもらったり一緒に遊んでもらったりで、先生方のご苦労には本当に感謝しています。

高校生活の中で楽しい思い出が一番多かったのはなんと進学をさほど意識していなかった2年の時です。それまでの高校生活の模索からエンジョイへ、そして常呂から網走管内、さらには北海道、本州へとスポーツや修学旅行、勉強を通して視野が広がっていった時期でした。

また、夏休みには「高校生の今しかできないことを何かやりたい」と気の合った数人と先生とで能取湖・網走湖の2泊3日徒歩一周をすることになりました。計画段階ではいく

つか問題はあったものの、綿密な計画と確実な1歩1歩で目的に向かう姿勢とやり遂げた自信は、その後もいろんな面で自分自身の糧になっているような気がします。